

《事業者向け自己評価表》

実施時期：令和元年12月

| | | チェック項目 | はい | どちらとも 言えない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | 5 | | ・日々の利用者のニーズに対しては十分対応できている ・スペースの確保に努めた |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 9 | 1 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | 7 | | ・現在の利用者の人数なら適切。 ・利用者の顔ぶれによっては狭い事もある |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 3 | 5 | 2 | 上司から常に目標の話があり全職員が同じ意識を持って支援できている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 8 | | | ・1回/年は必ず行ない、常にニーズを知るための努力が必要 ・保護者との関係は、子供を中心に常に考えられている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | 1 | | Facebookで公開している |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | 1 | 3 | ・信頼できる第三者を探している |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 6 | 3 | 1 | 研修への参加の声掛けがなされている |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 9 | 1 | | アセスメントのソフトを導入することが必要 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 4 | | 3 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 7 | 2 | | チームではないが話し合いをもっている |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 8 | 2 | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 6 | 4 | | 1日を通して個々の状況に配慮しながら様々な体験ができています。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | 1 | | 集団活動より個別支援が必要な子が多いが、仲間という効果はある。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 10 | | | 業務が不定期だが、支援の内容等の打ち合わせがあるため、働きやすい。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 7 | 2 | 1 | ・時間が確保できにくいので、独自の個別支援記録を更に活用していく必要がある ・活発な意見や振り返りがある。 ・送迎後に、戻った職員で話し合い記録をとっている。一同に集まってミーティング形式ではない |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 10 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | 2 | | やや遅れての実施だったが・・・ |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 6 | 2 | | 新しいスタッフにはできていない。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|----|---|---|----------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 10 | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 10 | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 8 | 1 | | 指示書作成の依頼 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 5 | 2 | 1 | ・新入学児は所属していないので該当なし ・あかしあ園PTと |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 6 | 1 | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 6 | 1 | 1 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 5 | 4 | 計画的ではないが、外出レクの出先にて |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 6 | 2 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 9 | | | |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 3 | 3 | 1 | | |
| 保護者への説明責任 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 10 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 10 | | | 保護者の気持ちに寄り添いながら利用児への支援が考えられている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 2 | 2 | 4 | 保護者からも希望がでているので開催を企画する必要がある。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 9 | 1 | | 該当なし |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 10 | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 10 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 10 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 2 | 2 | 4 | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|---------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 7 | 1 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | 1 | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | 1 | 1 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 7 | 2 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 5 | 2 | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 9 | | | ヒヤリハットが共有しやすく事前に注意する事ができる |

《放課後デイGranny熊谷 保護者向け自己評価表》

児童数 13名 回答数 12名 回答率92%

実施時期：令和2年1月

| | | チェック項目 | はい | どちらとも言えない | いいえ | 該当なし | ご意見 |
|----------|----|--|----|-----------|-----|------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 7 | 4 | 1 | | ・人数が増えてきているし車いす移動もあるので活動範囲を作ってほしい。 |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9 | 2 | 1 | | ・初めて会うスタッフがいる時がある。 |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 8 | 3 | 1 | | ・入口など危険な箇所もある。 ・座位保持装置や車いすなどもう少し対応してほしい。 |
| 適切な支援の提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 10 | 2 | | | |
| | 5 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 11 | 1 | | | |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 5 | 4 | 3 | ・交流はないが、公園やショッピングモール、スーパーに出かける事があるので良いと思う。 |
| 保護者への説明等 | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 11 | 1 | | | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 10 | 2 | | | |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | 4 | | | ・面談はないが、送迎時にアドバイスなどがある。 |
| | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 4 | 4 | 3 | ・保護者会を開いて色々な意見を聞いてほしい。 |
| | 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7 | 2 | 1 | 2 | |
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 11 | 1 | | | |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 10 | 2 | | | ・Facebookを家族で見ている。 |
| | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 11 | 1 | | | |
| 非常時の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 9 | 2 | 1 | | |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 5 | 5 | | 1 | 未回答1 |
| 満足 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 9 | 3 | | | ・すごく楽しみにしていると思う。 ・本人が楽しく安心して通っている様子がわかり嬉しい。 |

| | | | | | | | |
|----|----|----------------|----|---|--|--|---|
| 年度 | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 10 | 2 | | | ・安心な上、長期休みや土曜日も利用できて家族の生活も充実でき大変助かっている。 |
|----|----|----------------|----|---|--|--|---|